

キーワード：【志を合わせる】+【協働】

夢の実現

重点取組① 中学校区における学びの連続性を活かした小中一貫教育の創造

- ◎中学校区の小中一貫教育グランドデザインに基づく教育活動の実践【小小連携】
- ◎学年部組織を中心とした教育指導の充実【学年担任制・教科担任制】
- 9年間を貫く基本的学習・生活習慣定着のための共通実践
- 市研究指定事業の推進による教職員の意識改革と指導力向上及び教育成果の啓発
- コミュニティスクールを中心とした中学校区における連携・協働

重点取組② 児童生徒の人権感覚の育成と居場所のある学校づくりの推進

- ◎児童生徒の規範意識と支持的風土の醸成による「隠れたカリキュラム」の推進  
マイ・ホーム・スクールプロジェクトの取組の充実【朝起き、朝食摂取、黙想、「あいさつ・返事・靴そろえ」】
- 豊かな人間性と社会性を育む道徳教育の充実【ローテーション道徳】
- 二学期制を生かした子どもと向き合う時間の充実
- 日常的な言葉の教育の取組の一層の充実

重点取組③ ICT機器を積極的に活用した教育活動の充実と多様な授業展開による学びの保障

- ◎タブレットPCなどICTを効果的に活用した学習活動の充実  
(情報活用力、主体的学び、問題解決力、協働的学び、情報モラル)
- ◎多様なニーズに応えるオンライン学習の実践と評価
- 「プレゼン教育（ICT版ことば教育）」の推進
- タブレットPCを活用した家庭学習の充実

重点取組④ 働きやすい職場環境づくりの推進

- ◎チームとしての学年・学校を実現するための組織改革と人材育成
- ◎働き方改革に向けた学校の意識変容と在校等時間縮減の推進
- 校務の効率化及び行事や会議等のスリム化による教職員の業務改革
- 風通しのよい職場環境づくりによるハラスメントと不祥事防止の推進
- 校務支援システムの効果的な活用による教育活動の充実と校務の一層の効率化

具体的実践項目①【確かな学力の向上】

- ◎学年担任制による家庭学習の取組の充実
- ◎長期休業前の教育相談・個別指導の充実
- 諸調査の考察等による学力・学習に関する課題の明確化とその解決を目指した方策の共通実践
  - ・学力向上アクションプランの作成及び活用等
  - ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 評価の精度と教育的効果を高める取組
- 各教科における授業力向上と支援体制の充実
  - ・小学校の教科担任制と中学校のチーム担任制の取組
  - ・兼務発令と乗入れ授業の取組
  - ・ICT支援員の効果的活用
  - ・1人1回以上の研究授業と学校教育指導員の活用
  - ・英語講師、ALTの有効活用
  - ・外国にルーツを持つ児童生徒への日本語指導員の支援

具体的実践項目②【豊かな心の育成】

- 人権感覚を身に付け、人権意識を育む人権教育の推進・年齢層に応じた人権教育の一層の充実
- 「いじめ」の積極的認知と早期解消への丁寧な取組
- 不登校の未然防止・解消や教育保障（学びの保障）に向けた取組
- ストレス等への対処やSOSの発し方を学ぶ学習の実施やレジリエンスを育てる教育活動の充実
- 「考え、議論する道徳」の授業の展開
- 幼・保、小、中、高校、特支の連携による特別支援教育推進
- 教育相談における連携協力体制の充実と強化
  - ・SC、SSW、教育相談員の有効活用
  - ・適応指導教室指導員の活用
  - ・女性・子ども支援課、福祉課、関係機関等との連携

具体的実践項目③【たくましい身体の育成】

- 学校体育の充実
  - ・小中連携による体育・保健体育の授業交流
  - ・スポーツテスト結果の分析と対応
  - ・学校教育活動におけるラジオ体操の実施
  - ・中学校部活動指針の徹底とあり方検討
- 学校保健の充実
  - ・健康診断結果の分析と対応
  - ・感染症やフッ化物洗口など健康課題への取組
- 学校安全の充実
  - ・学校安全計画に基づいた安全教育の実施
  - ・防災主任を中心とした防災教育の取組
- 学校給食「食に関する指導」の充実
  - ・学校給食衛生管理基準に沿った給食指導
  - ・事故防止と事故発生時の組織対応
  - ・家庭と連携した食に関する指導充実
  - ・地産地消の推進

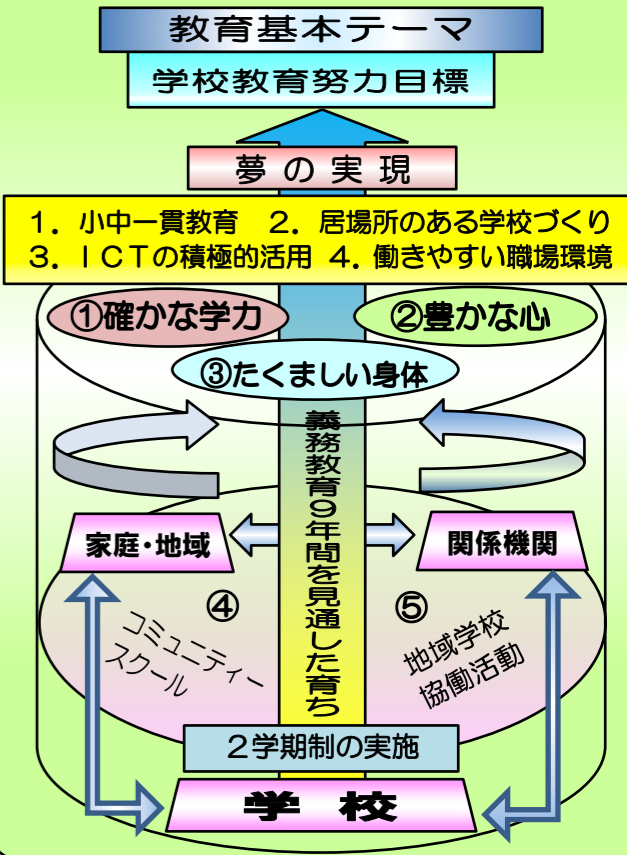
具体的実践項目④【特色ある学校づくり】

- <将来の夢を育む教育の推進>
- 夢を拓くキャリア教育の推進（キャリアパスポートの有効活用）
- 英語教育の推進（英語専科、ALT、英検プロジェクト）
- ボランティア活動の推進  
【青少年赤十字（JRC）活動、その他】
- 郷土の歴史、伝統・文化を活かした学習（生涯学習課との連携）
- 学校支援ボランティアの活動の拡充
- 幼・保・こども園と小・中学校との連携促進

具体的実践項目⑤【人権啓発教育・生涯学習との連携】

- 地域との連携
  - ・地域行事や学校行事の日程調整及び積極的な協力と参加
- 人権関係機関との連携及び人権啓発教育の推進
  - ・人権関係機関（支部等）との連携及び人権教育研究大会、人権フェスティバル、人権フォーラム（ハンセン病問題啓発）研修会への参加
- 地域教育力向上の推進
  - ・コミュニティスクール（学校運営協議会）及び中学校区地域学校協働本部（活動）による学校・地域との連携、協力及び実践
- 家庭教育力向上の推進
  - ・くまもと家庭教育支援チームによる連携、協働及び家庭教育への支援
- 青少年教育の推進
  - ・教育特別講演会の参加、子ども110番の家の周知、パトロールへの参加
- 子ども読書活動の推進
  - ・子ども読書活動推進計画に基づく読書活動の推進及び図書館、マンガミュージアムとの連携
- 子ども会活動の推進
  - ・子ども会活動啓発、ジュニアリーダー事業やスポーツ大会、子ども110番等への参加
- 地域の文化事業による子どもの育成
  - ・伝統郷土芸能（神楽保存会、太鼓保存会等）などの地域活動との連携
- 学校部活動と社会体育との連携
  - ・中学校部活動の社会体育移行に向けた研究・協議及び関係機関との連携
- 学びの体験活動の推進
  - ・三つ木の家自主事業（通学合宿、自然体験、子ども論語塾等）への参加、歴史資料館の活用及び歴史・科学体験教室の周知、西合志図書館天文台の啓発

◆構想図◆



◆具体的数値（目標値）◆

- A：CRT 市標準学力調査（標準スコア）  
各学校53.9以上
- B：教育保障ができていない不登校児童生徒数  
各学校1人以下
- C：問題行動の市教委への口頭報告件数  
各学校1件以下
- D：新体力テストA～Cの割合  
各学校76.6%以上
- E：朝食をほとんど食べない児童生徒の割合  
各学校3.4%以下
- F：学校管理規則第28条の2（在校時間等）第2項の抵触教育職員数  
各学校0人